

2014年(平成26年) 5月26日(月曜日)

物流ニッポン LOGISTICS NIPPON

アサヒロジング／ドラコン

安全徹底しレベル向上

協力会社と合同開催

アサヒロジステイクス(横塚元樹社長、埼玉県嵐山町)グループは18日、東京都羽村市でドライバーコンテストとフォークマンコンテストを開催し、日頃の業務で培った技術を競い合った。今回、協力会社で構成するアサヒパートナーズ会(笠井学会長、東京日野自動車社長)との初の合同開催となり、トラック事業者やメーカー、販売会社などからも選手が出場した。横塚社長が「昨年、パートナーズ会の皆さんから

『合同で実施してはどうか』という提案があったのがきっかけ。トラック業界を、



誰もが働きたいーと思える憧れの対象にしていくために、徹底した安全・品質の確保を徹底し、互いに切磋琢磨(せっさたくま)しながらレベル向上を図っていききたい」と挨拶。

笠井会長も「燃料価格の高止まりをはじめ、様々な課題が山積している中、安全と品質、低コストの三拍子がそろった会社こそ成長できる。非常に時流をとらえた大会だ」と述べた。

3ト、4ト、フォークの各部門の競技を実施

競技は日野自動車羽村工場の一角を用いて行われ、トラック(3トン、4トン)、フォークの2部門で実施。学科と運転、日常点検の3科目による総合得点で順位を決める。フォーク部門はカウンタースとリーチ式を使用した。

総合優勝には、3トン部門で出場した原田政裕選手(秩父営業所)が輝いた。4トンはパートナーズ会の岩井功選手(曙運輸)が1位。フォーク部門は狩野隼人選手(仙台冷蔵倉庫)が優勝した。(小瀬川厚)